

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-2-3		事業名	中規模事業所ごみ減量推進事業
担当	環境局環境事業部事業廃棄物課 梅田 TEL 211-2927			
<b>全 体 計 画</b>				
事業内容	現在、年1回、ごみ減量・処理報告書の提出等を義務づけている大規模建築物の範囲の拡大 (指導対象:約1千事業所から約5千事業所に拡大)		<年度別の事業内容>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要古紙及び生ごみのリサイクル促進を基本とした指導対象の選定・指導方針の構築</li> <li>1.主要古紙のリサイクル促進を基本とした指導対象の選定・指導方針の構築 (中規模事務所ビル等への指導を開始)</li> <li>2.生ごみのリサイクル促進を基本とした指導対象の選定・指導方針の構築 (中規模食品関連事業所へ改正食品リサイクル法対応の指導を強化)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成20年度:中規模事業所ごみ分別・リサイクル指導の推進体制構築 データベースの構築。指導方針策定。</li> <li>○平成21年度:大・中規模事業所への指導 新制度周知。「紙ごみ」の分別、食品リサイクル法に基づく「生ごみ」減量等の普及推進。 古紙業界・団体との連携・協力関係の育成、流通実態調査。</li> <li>○平成22年度:指導体制継続 小規模事業所指導への展開。</li> </ul>	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.事業系古紙回収協力店制度の継続</li> <li>2.リサイクルシステムの展開 ・異業種回収拠点の拡充</li> <li>3.優良事例集作成・配布 ・優良事例調査 事業系古紙分別啓発パンフレット制作</li> <li>4.モデル事業 ・古紙分別の余地があるオフィスビル2棟で分別改善</li> <li>5.札幌市事業系古紙リサイクル促進検討会の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>1.リサイクルを促進する事業者の整理及び指導方針の作成</li> <li>2.中規模事業所「分別ガイド」の作成</li> <li>3.中規模事業所「データベースシステム」の構築</li> <li>4.札幌市事業系古紙リサイクル促進検討会の継続実施</li> </ul>	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.大・中規模事業所(以後、新大規模建築物という)への指導、新制度周知。 ・事業ごみ指導員による、約5,000件に対する「紙ごみ」の分別、食品リサイクル法に基づく「生ごみ」減量等の普及推進。 ・分別後の誘導先の周知。</li> <li>2.古紙業者との連携・協議。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>1.新大規模建築物への指導の継続。 ・排出実績を基にした指導。 (対象件数:約4,700件 立入指導件数:約2,000件)</li> <li>2.新大規模建築物内の各テナント(小規模事業所)へのきめ細やかな指導の展開。</li> <li>3.札幌薄野ビルゼンギ協会と協働で「すすきのごみ減量・資源化プロジェクト」を実施し、同協会と事業ごみ分別・リサイクル推進のための「すすきのスリムタウン協定」を締結。</li> </ul>	
事業内容	規 模 件 数 等			

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-3		事業名	中規模事業所ごみ減量推進事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
ごみ減量・処理報告書の提出義務づけ対象拡大	—	一部実施	実施	指導開始	継続	実施 (H19)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 該当なし。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力]該当なし。 [人材協力]該当なし。 [情報協力]立入指導時に処理業者やリサイクルルートの情報を提供することで、自主的なリサイクル活動の支援・協力を行った。 [その他の協力]該当なし。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 取組内容をホームページ、パンフレットを活用して、随時、事業者へ情報提供することと、21年度からの事業者指導とともに、分別・リサイクルに関して普及啓発を促進することにより情報共有を行う。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>○大規模建築物の対象が拡大され、約4,700件の建築物所有者等に対して事業ごみ指導員が事業ごみの減量・分別の指導を行う体制を構築した結果、廃棄ごみ量は着実に減少している。</p> <p>○立入指導を実施した事業者の中には、今後はごみ減量・分別に会社として積極的に取組みたいという反応も徐々に増えており、ごみ減量への事業ごみ指導員の指導効果は見られてきた。</p> <p>○すすきのモデル地区における事業者自らのごみ減量・リサイクルのシステムを構築した。</p>			<p>○事業者自らのごみ減量・リサイクルへの取組事例(すすきのごみ減量・資源化プロジェクト)を今後、他の地域へ普及させる。</p> <p>○小規模事業所におけるごみの分別・リサイクルの普及、推進を図る。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>○事業ごみ指導員が平成21年度から新たに対象となった新大規模建築物を中心として指導し、また、ごみ減量計画書・処理実績報告書の提出率を上げていき、ごみ減量・リサイクルを推進する。</p> <p>○モデル地区における事業者自らのごみ減量・リサイクルの取り組みを他地区にも普及していく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-2-3		事業名	中規模事業所ごみ減量推進事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	4,700	0	0	0	4,700	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,700	0	0	0	4,700	
予算	事業費	4,700	8,000	0	0	12,700	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,700	8,000	0	0	12,700	
実績	事業費	4,547	7,844	0	0	12,391	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
	一般財源	4,547	7,844	0	0	12,391	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)				263.6%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》							
[19年度]							
[20年度] 新大規模建築物名簿整備費、台帳管理システム構築費として予算化。							
[21年度]							
[22年度]							